

主日礼拝

2026年10月25日 10時20分～

司式:

奏楽:

「創造主である神」

『ヨブ記』38章1～18節では、苦しみ理由を問い続けてきたヨブに、神が答えます。ヨブの苦難がなぜ起こったのかを直接説明するのではなく、天地創造の業を示しながら、ヨブに問いかけます。地の基を据えたのは誰か。海の境を定めたのは誰か。曙に朝を命じ、地の果て、海の底まで見渡すことができるのは誰か。これらの問いは、人間の知識や理解には限界があり、世界全体を治める神の御業を人間がすべて理解することはできない、ということです。ヨブは苦難の意味を知ろうとしましたが、神は創造された世界の広大さを示し、人間の理解を超えた御自身の知恵と力を明らかにされます。私たちも、苦しみ理由が分からず、神に問いかけることがあります。すべての答えを得ることが信仰なのではありません。私たちの理解を超えた神の御前に立ち、その語りかけに耳を傾けることが信仰の道なのです。

『使徒言行録』14章8～17節ではパウロとバルナバがリストラで生まれつき足が不自由な男を癒やします。これを見た群衆は、二人を神々が人間の姿をとって現れたものと考え、彼らにいけにえを献げて拝もうとしたのでした。そこで二人は自分たちも人間であることを強調して、彼らの行為を止めさせます。そして、人間を拝むような偶像礼拝から離れて、天と地と海、そこにあるすべてのものを造られた「生ける神」に立ち帰るよう勧めるのです。神は雨を降らせ、実りの季節を与え、食物と共に喜びを与えて人々の心を満たしておられたのです。パウロたちは、自然の恵みの背後におられる創造主なる神を証しました。すべての恵みの源である主なる神に栄光を帰すべきなのです。

《神の招き》

前奏 『全能なる神をたたえん』 J.S. バッハ
招詞 イザヤ書43章15節
賛美歌 19

《神の言葉》

祈禱 聖霊の照らしを求める祈り
聖書 ヨブ記38章1～18節 (旧約811頁)
使徒言行録14章8～17節 (新約236頁)

子ども説教
奉唱 福音讃美歌 359 番「私の望みは主イエスだけにある」
交読詩編 148編1～6節 (173頁)
賛美歌 156
説教 「創造主である神」 八木浩史牧師
祈禱
賛美歌 教会福音讃美歌 245

《感謝の応答》

信仰告白 使徒信条
転会式 542
奉献 献金 祈禱: 献金当番
主の祈り (週報表紙、ホームページ掲載)

《派遣》

頌栄 29
祝福
報告
後奏 『神はわが砦(讃美歌 377 番)』 高田春彦

礼拝当番: (役員:) 献金当番:
音響: 映像: